



Riverside

— multistage drive —

USER MANUAL

Rev.B

strymon®

フロントパネル・コントロール

• GAIN

Low / High の異なるゲインをトグル・スイッチで切り替えます。

• DRIVE

ゲインをコントロールします。多数の複雑なパラメーターが同時に変更されています。

• BASS

低域をコントロールするシェリング・タイプのEQです。ドライブ回路の後（ポスト・ドライブ）に位置し、アンプに入力される前にトーン調整できます。

• FAVORITE

セーブした『お気に入り/フェイバリット』プリセットをリコールします。プリセットがリコールされると**レッドLED**が点灯します。新たなプリセットのセーブは、このスイッチを2秒以上長押しします。

COMPARE MODE/サウンドの比較モード

フェイバリット・プリセットを選択した状態で、コントロールを操作し、コントロール・ノブの位置がプリセットと同じだと、LEDが**レッド**から**グリーン**に変わります。



• PUSH

フラット / Mid ブーストをトグル切り替えます。

• LEVEL

エフェクトのボリュームレベル

• TREBLE

高域をコントロールするシェリング・タイプのEQです。

ドライブ回路の後（ポスト・ドライブ）に位置し、アンプに入力される前にトーン調整できます。

• MIDDLE

ブースト/カットができるアクティブ・タイプのパラメトリックEQのミッドバンドです。

ドライブ回路の後（ポスト・ドライブ）に位置し、アンプに入力される前にトーン調整できます。

• ON

エフェクトのON/OFFです。

リレータイプのトゥルー・バイパスです。エフェクトONでレッドLEDが点灯します。

リアパネル

• PRESENCE SWITCH

プレゼンス：高帯域周波数を調整します。

- (-)：ブライトな音色のアンプに適しています。
- center：ハイゲイントーンのトップエンドに歪みを追加しません。
- (+)：ダークで丸みのある音のアンプや、パワーアンプ（アンプ/エフェクトリターン）に直接接続する場合に選びます。

• IN

ハイ・インピーダンス、モノ入力。

• OUT

モノ出力。

• BOOST

Boost Switch Mode/ブースト・スイッチ・モード

出力信号を～ +6dB（2倍）まで上げるブースト機能をオン/オフします。

Favorite Output Mode/フェイバリット・アウト・モード

他のstrymonペダルのEXPジャックと接続して、複数のFavorite（お気に入り）セッティングをリコールできます。

• POWER

9V DC センターマイナスのアダプターを使用してください。アダプターは250mA以上の電流容量が必要です。プラグは、標準サイズの5.5mm x 2.1mmです。

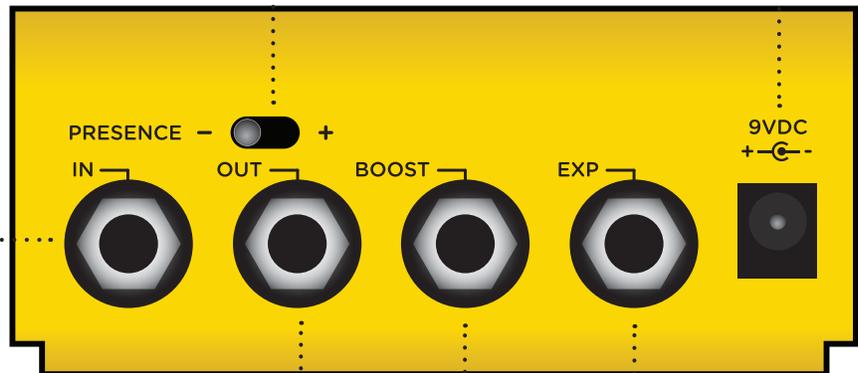
• EXP

Expression Pedal Mode/エクスプレッション・ペダル・モード

エクスプレッション・ペダルを接続するジャックです。コントロール・ノブが外部からコントロールできます。

Volume Mode/ボリューム・モード

Volume モードでは、ボリュームレベルをペダルから操作できます。



マルチステージ・ドライブ・トポロジー

Riversideは直列につながった複数のゲイン・ステージを経て、サウンドが作り上げられます。各ゲイン・ステージで生まれるダイナミクスの変化とハーモニクス（倍音）が、ステージからステージへと受け渡されていきます。

ステージ1：クラスAアナログFET 入力ゲイン・ステージ

演奏時のタッチ・レスポンスとダイナミクスの変化が、クラスAのFET入力ゲイン・ステージで最適化されます。このアナログのゲイン・ステージは、レベルがデジタル・コントロールされており最大ヘッドルームを保ちます。それにより、優れたノイズ特性を維持しながらアナログ・ゲインを最大20dB稼ぎます。

ステージ2、3、4：チューブ特性を再現するDSPゲイン・ステージ

我々の真空管ゲイン回路分析により、それらは広帯域ゲイン段で、細部に渡りリッチでフルな倍音構成を生み出すということが解りました。各ステージ（段）毎に豊かなハーモニクス（倍音）が追加され、信号はダイナミックに変化していきます。

可変サーキットのチューニング

Driveを操作すると、連続可変サーキットがダイナミックに複数のパラメーターに同時に変化させ、どんなゲイン設定でも「スイート・スポット」にはまるように調整します。その結果、煌びやかなクリーン～マイルドなオーバードライブ～激しくサチュレーションされたハイゲインのリードサウンドまで幅広く作り出せます。



コントロール



3バンドEQ

独立した3バンドEQ（ベース、ミッド、トレブル）は、サウンドを接続したアンプに合うようしなやかに補正できます。このEQコントロールは、ブリティッシュ・アンプのようにポスト・ドライブに位置し、ゲイン・ステージで生まれたハーモニクスを効果的に整えます。



PUSH（プッシュ）スイッチ

アナログ入力段の直後で中域をブーストすることにより、次のドライブ・ステージをより激しくドライブし、サウンドをタイトに引き締めます。ファットなドライブ・サウンドを求める時や、アンプで作られた歪みを更にブースト（プッシュ）する時に適切な機能です。透明感あるクリーンなサウンドを作る時は、NORMALのポジションに設定しましょう。



PRESENCE（プレゼンス）スイッチ

3段階のスイッチで切り替えます。

マイナス（-）の位置では高域が抑えられ、ブライトな特性を持つアンプに接続する時に選びます。中央の位置では高域が伸び、ハイゲイン時に少し耳障りな鳴りが得られます。ウォームな特性を持つアンプに接続する時に適しており、高域のディテールが増します。パワーアンプに接続する時は、プラス（+）の位置に設定してください。高域のディテールが向上します。また、ダークな特性を持つアンプに接続する時にも推奨します。



GAIN（ゲイン）スイッチ

「LOW」の設定では、低～中くらいの歪みの設定です。それでもDRIVE最大設定時には、充分ヘヴィーな歪みが得られます。ヴォイシングは、信号のダイナミクスに追従し、タッチのニュアンスに繊細に反応します。高いゲイン設定時には、ヴィンテージアンプを歪ませた時のような「ルース」なサウンドが得られます。

「HIGH」の設定では、信号経路全体のゲインが増加し、サウンドを少しタイトにします。低いゲイン設定時には比較的クリーンなサウンドが得られますが、DRIVEを上げるにつれてヘヴィなクランチ～ハイゲイン・サウンドへと変化していきます。

ノイズ・リダクションのスレッシュホールド

Riversideには、可変式のノイズ・リダクションが搭載されています。プレイしていない時のハムやシステムノイズを解消する事ができます。ダウン・エクспанションと高度な信号感知機能で、スタッカートや早いピッキングの信号ダイナミクスの変化も、シームレスなゲート効果を可能にします。ノイズゲートの設定は『お気に入り』（FAVORITE）にも保存されます。

- 1 LEDが速く点滅するまで、ONのフットスイッチを長押しします。

ONフットスイッチを離します。



- 2 DRIVE を12時より右にすると、ノイズ・リダクションがオンになります。

ノイズ・リダクションがオンになると、FAVORITEスイッチのLEDがグリーンからオレンジに変わります。ラウドなサウンドやノイズの発生するようなセッティングで選びます。ノイズ・リダクションのスレッシュホールド値が大きくなると、FAVORITEスイッチのLEDがオレンジからレッドに変化します。

- 3 ノイズ・リダクションの設定を保存するために、ONフットスイッチを1度押します。

保存した設定は、マニュアル/Favorite両方に働きます。

注) ライブエディット機能&パワーアップモードの設定は、ご使用の製品のバージョンによって異なる場合があります。新しいバージョンの製品につきましては P23 ~ 25 を参照してください。

バイパス・モード・セレクション

リバーサイドをバッファード・バイパスに設定できます。
多くのペダルを使う場合や長いケーブルの使用には、ギターサウンドの高域特性が低下しないようにバッファード・バイパスの選択をお勧めします。

- ① ONスイッチを押したまま、電源を投入します
(ACアダプターを接続する)。

- ② LEVELノブを回し、トゥルー・バイパスorバッファード・バイパスを選択します。

グリーン：トゥルー・バイパス（工場出荷時）
レッド：バッファード・バイパス



- ③ ON or FAVORITEスイッチを押して設定を保存します。

注) ライブエディット機能&パワーアップモードの設定は、ご使用の製品のバージョンによって異なる場合があります。新しいバージョンの製品につきましては P23 ~ 25 を参照してください。

パワーアップ・モード

BOOSTジャック機能のオプション

- 1 FAVORITEスイッチを押したまま、電源を投入します（ACアダプターを接続する）。



- 2 BOOSTジャックの機能モードを、DRIVEノブを回して選びます。

- **グリーン**：ブースト・スイッチ・モード
(詳細は、9ページをご参照ください。)
- **レッド**：お気に入り出力・モード
(詳細は、10ページをご参照ください。)

- 3 再びONフットスイッチを押し、設定を保存します。

注) ライブエディット機能&パワーアップモードの設定は、ご使用の製品のバージョンによって異なる場合があります。新しいバージョンの製品につきましては P23 ~ 25 を参照してください。

ブースト・スイッチ・モード

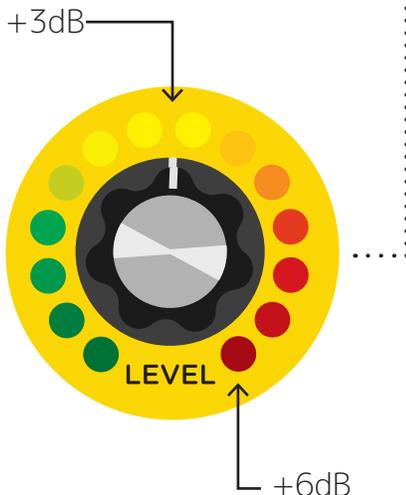
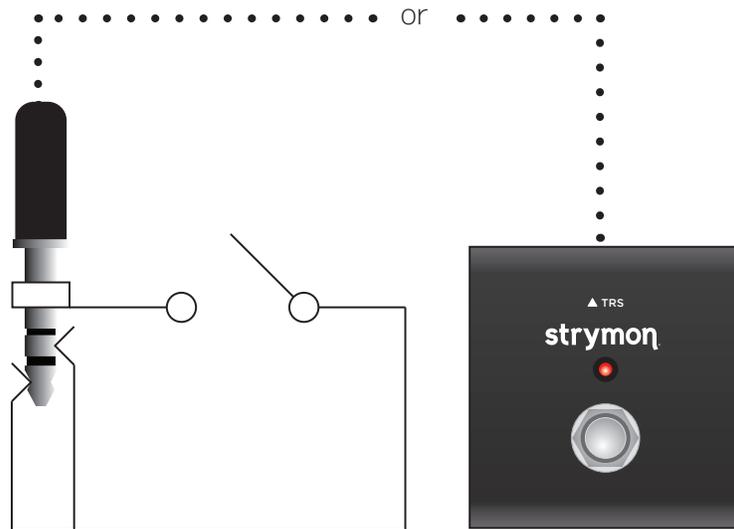
最大6dBブーストのオン/オフが、strymon のFAVスイッチか、フットスイッチをTRSケーブル（ステレオケーブル）でつなぐことで、切り替えが可能になります。

- 1 ONフットスイッチを長押しすると、LEDが早く点滅します。



- 2 ONフットスイッチを離します。

- 3 LEVELノブを回して、最大+6dBまでのブーストを設定します。設定するブーストレベルによって、LEDの点滅がグリーンからハイブースト設定のレッドに変わります。



- 4 ONフットスイッチを再度押して、設定を保存します。

NOTE: ブースト設定はグローバルで、マニュアルとお気に入り（FAVORITE）設定の両方に働きます。

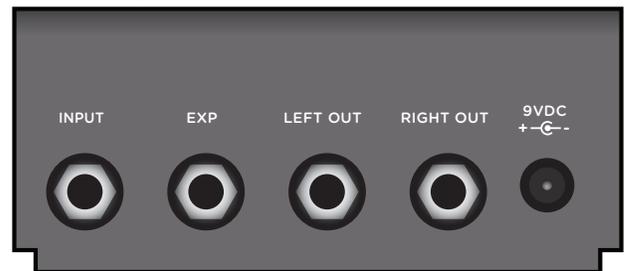
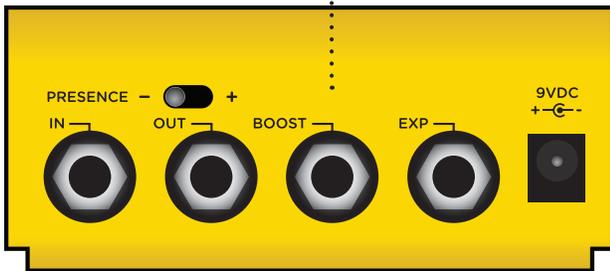
注) ライブエディット機能&パワーアップモードの設定は、ご使用の製品のバージョンによって異なる場合があります。新しいバージョンの製品につきましては P23 ~ 25 を参照してください。

『お気に入り』アウト・モード

他のstrymonペダルに接続し、お気に入り（FAVORITE）プリセットを一緒に呼び出します。

- ① 他のstrymonペダルのEXPジャックとリバーサイドのBOOSTジャックを、TRSケーブルで接続します。

- ② 受ける側のFAVORITE EXP設定をご確認ください。（設定方法はstrymon.net/supportをご覧ください。）



- ③ 受ける側のstrymonペダルのお気に入り（FAVORITE）設定を保存します。

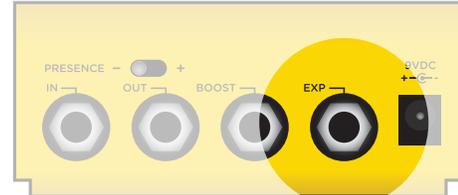
- ④ FAVORITEスイッチを押し、リバーサイドと一緒に接続機も同時に切り替えます。

オプションのステップ：リバーサイドの新しい『お気に入り』設定を保存し、接続したstrymonペダルの『お気に入り』も同じように設定します。

パワーアップ・モード - エクスプレッション・ジャック・オプション

EXPジャックの機能を選択します。

- ① FAVORITEスイッチを押したまま、電源を入れます（ACアダプターを接続する）。



- ② LEVELノブを回してEXPジャックモードを設定します。

- **グリーン**：エクスプレッション・ペダル・モード
（詳細は、12ページをご参照ください。）
- **オレンジ**：ボリューム・モード
（工場出荷時）
- **レッド**：フェイバリット・イン・モード
（詳細は、14ページをご参照ください。）



- ③ 再びONフットスイッチを押し、設定を保存します。

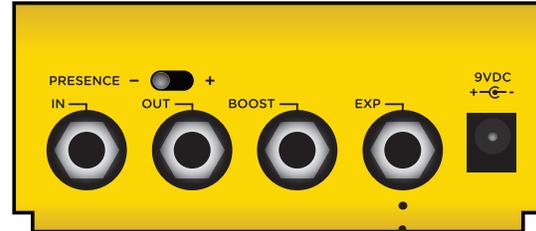
NOTE:このモードの設定は、同じ手順で変更するまで変わりません。

注) ライブエディット機能&パワーアップモードの設定は、ご使用の製品のバージョンによって異なる場合があります。新しいバージョンの製品につきましては P23 ~ 25 を参照してください。

エクスプレッション・ペダル・モードの設定

TRSエクスプレッション・ペダルを使って、任意のノブをコントロールすることができます。

- 1 エクスプレッション・ペダルを、TRSケーブルでEXPジャックと接続します。



- 2 LEDがグリーンに点滅するまで、FAVORITEとONの両スイッチを長押しします。

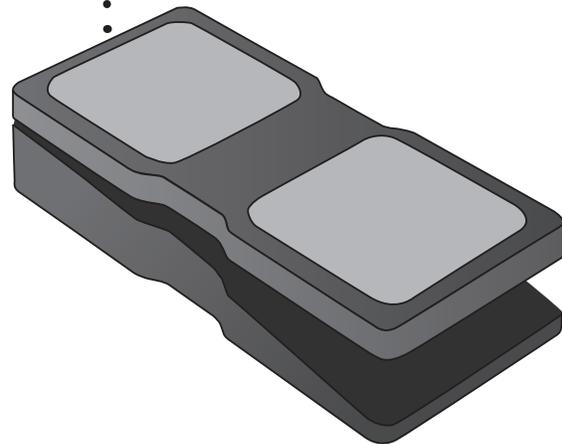
- 3 エクスプレッション・ペダルをヒール側にすると、FAVORITE LEDのみがグリーンに点滅します。

- 4 ヒールポジションに設定したいノブ（複数可）設置を行います。するとFAVORITE LEDがレッドに変わります。

- 5 エクスプレッション・ペダルをトゥ側になると、ON LEDがグリーンに点滅します。

- 6 トゥポジションに設定したいノブ（複数可）設置を行います。するとON LEDがレッドに変わります。

- 7 FAVORITE またはONスイッチのいずれかを一度押しすと、保存が完了します。

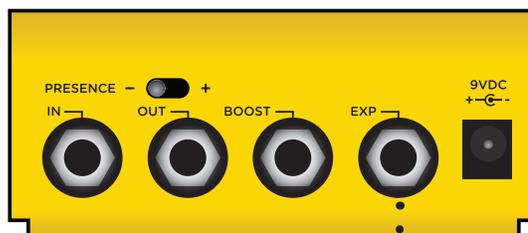


NOTE: エクスプレッション・ペダルの設定はグローバルです。マニュアルとお気に入り（FAVORITE）設定の両方に働きます。

ボリューム・モード

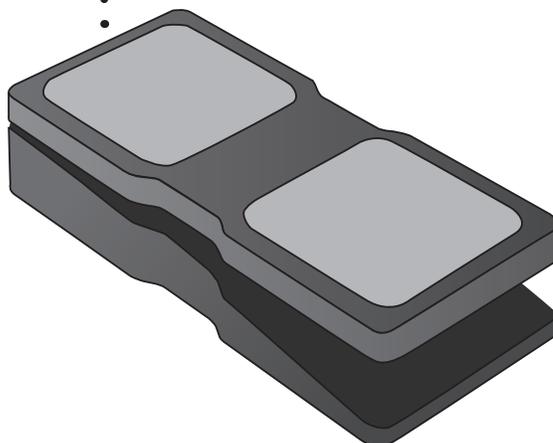
TRSエクスプレッション・ペダルで出力ボリュームをコントロールします。

- 1 EXPジャックにエクスプレッション・ペダルを接続します。



- 2 エクスプレッション・ペダルのトゥポジションと最大LEVELノブを合わせます。

- 3 『お気に入り』の設定の場合は、その保存時に設定されたLEVELに反応します。

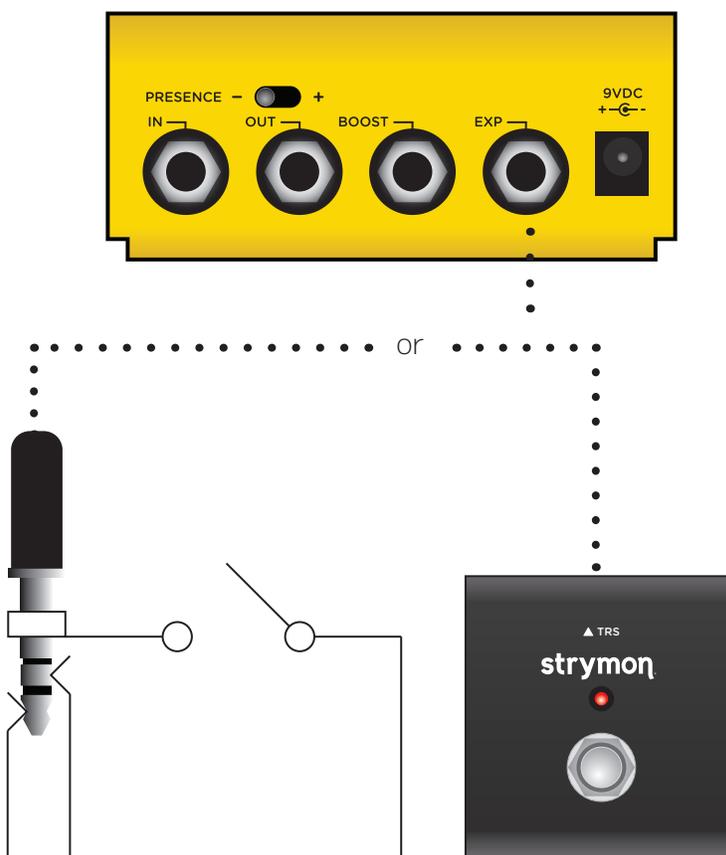


NOTE: リバーサイドがBuffered Bypass Mode (バッファード・バイパス・モード) でEXPジャックがボリューム・ペダル・モードの時、エフェクトがバイパスでもボリュームはペダルで操作できます。

フェイバリット・イン・モード

外部スイッチからフェイバリット/マニュアルの切り替えが行えます。

- 1 スイッチとEXPジャックをTRS（ステレオ）ケーブルでつなぎます。
- 2 ノブやスイッチを好みの設定にします。



- 3 本体のFAVORITEスイッチを2秒以上長押ししてセッティングを保存します。

NOTE: リバーサイドがFavorite In Mode (フェイバリット切り替えを受けるモード)に設定されている場合は、本体のFAVORITEスイッチからのプリセット・リコールはできません。外部のスイッチ（スイッチング）でフェイバリット/マニュアルを切り替えます。

工場出荷時へのリセット

- ① ONスイッチを押しながら、電源を入れます。



- ② DRIVEノブを0-100%まで2回まわします。すると、工場出荷時へとリセットされます。

工場出荷のセッティング

- EXP入力ジャック：ボリューム・ペダル・モードで動作するように割り当てられます。
- エクスプレッション・ペダル・モード割り当て：DRIVEを制御します。
- BOOST入力ジャック：ブースト・スイッチ・モードで動作します。
- ブーストレベル：50%
- ノイズ・リダクション：オフ
- バイパス・モード：トゥルー・バイパス

注) ライブエディット機能&パワーアップモードの設定は、ご使用の製品のバージョンによって異なる場合があります。新しいバージョンの製品につきましては P23 ~ 25 を参照してください。

特徴

- ・新開発の真空管ゲイン・ステージを再現するマルチステージ・ディストーション・アルゴリズム
- ・デジタル制御し最大ヘッドルームを確保するクラスA JFETアナログゲインステージ（最大アナログ・ゲイン 20dB）
- ・信号の変化に従い倍音を生み出すDSPゲイン・ステージ
- ・スムーズでクラシカルなオーバードライブを再現する Lowゲイン・モード
- ・モダンで深いサチュレーテッド・ディストーションを再現する Highゲイン・モード
- ・3バンドEQ、独立Bass、Middle、Trebleコントロール
- ・ポスト-アナログ・ゲインmid-band EQプッシュ（ブースト）
- ・ダーク～ブライトなアンプまで、サウンドを最適化できるプレゼンス・スイッチ
- ・可変設定可能なスリショルドを備えたノイズ・リダクション機能
- ・ハイインピーダンス・モノ入力
- ・モノ出力
- ・FAVORITE スイッチ：お気に入りセッティングの保存/リコール
- ・EXP ペダル入力：Expression Mode = 各パラメーターのスムーズなリアルタイム・モーフィング・コントロール、Volume Mode = 出力コントロール（ログカーブ）
- ・最大+6dBのアナログ・ブースト設定
- ・BOOSTペダル入力：ゲインブーストor Favorite Out機能
- ・超低ノイズ、24bit/96k高品位A/D & D/Aコンバーター
- ・最高音質のフロント&出力部アナログ・セクション
- ・SHARK DSP採用
- ・32bit 浮遊小数点演算方式
- ・トゥルー・バイパス（リレースイッチング）
- ・Made in USA

スペシフィケーション

入力インピーダンス	500k Ohm
出力インピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+8dBu
周波数特性	20Hz ~ 20kHz
DSPパフォーマンス	1585 Mega FLOPS
バイパス	トゥルー・バイパス
サイズ	102mm（幅）×114mm（縦）×67mm（高）※突起部含む

入力電圧

9VDC センターマイナス、250mA

付属品：専用パワーサプライ

Strymon 製品に付属されているACアダプターは、strymonデジタル製品専用です。単独で他の製品に使用したり、パラレル出力でstrymonと他のエフェクターと一緒に使用しないで下さい。

Appendix 1

MIDI ファンクション

MIDI – Riverside MIDI 使用法

1.2 ファームウェアは、Riverside で保存可能な300 のプリセットのリコール/ ロード、コントロールノブ設定の変更が、EXP ジャックを通じてMIDI メッセージで行えます。これにはMIDI コントローラー/ インターフェース (1/4" ジャック出力仕様)、又はStrymon MIDI EXP ケーブルが必要です。必要なアクセサリーの情報はstrymon.net/support/riverside をチェックしてください。

最新ファームウェアをインストールする場合はstrymon.net/firmwareupdate にアクセスしてください。

Step 1 – EXP ジャックを MIDI モードに設定する

10 ページの EXP ジャックの α 設定をご覧ください。EXP ジャックを MIDI モードに設定します。

1. FAVORITE フットスイッチを長押ししながら本機の電源を入れます。
2. DRIVE ノブを ON LED が **BLUE** に点灯するまで廻すと、EXP ジャックは MIDI モードに設定されます。
3. いずれかのフットスイッチを押し、この設定を完了します。

Step 2 – MIDI Channel (チャンネル) の設定

MIDI メッセージの送受信に使用する MIDI チャンネルを決定します。本機のイラストを見ながら説明をお読みください。

ノート：MIDI チャンネル 4-16 を選択する際は、本機を MIDI デバイスとの接続が必要です。

- 1 ON フットスイッチを長押ししながら本機の電源を入れます。両 LED がフラッシュしたらフットスイッチを放してください。



- 2 DRIVE ノブを回して MIDI 送受信チャンネルを決めます。チャンネルが切り変わると両 LED がフラッシュします。

GREEN - Channel 1 (デフォルト設定)

AMBER - Channel 2

RED - Channel 3

BLUE - チャンネル 4-16 (1 / 4" - MIDI ケーブル接続が必要です。) LED は指定 MIDI チャンネルを受信するまでに点滅します。MIDI チャンネルが決定されると点滅は止まります。

- 3 ON フットスイッチを改めて押し、MIDI チャンネルの保存が完了します。

本機から MIDI メッセージを送る場合の設定をここで行います。本機が MIDI メッセージを受けだけの場合（一般的な使用方法）は、MIDI Output（出力）モードは OFF に設定します。

Step 3 – MIDI Output モードの設定

1 FAVORITE フットスイッチを長押ししながら本機の電源を入れます。両 LED がフラッシュしたらフットスイッチを放してください。



2 MIDDLE ノブを回して、本機から送る MIDI メッセージを決めます。モードが変更されると、両 LED が一瞬フラッシュします。

GREEN – ON : 本機のノブやスイッチが MIDI メッセージを出力します。

AMBER – THROUGH : 本機が受けた MIDI メッセージをそのまま出力します。

RED – OFF (デフォルト設定) : 本機から MIDI メッセージは出力されません。

TIP: 簡単な確認例を紹介します。FAVORITE フットスイッチが Off の時に、本機が MIDI CC#102 で 127 を受けると、FAVORITE スイッチは On になります。

MIDI 接続が正しければ、これが正常に動作します。試してみてください。

MIDI – エクスプレッション On/Off

MIDI エクスプレッション・メッセージへの応答を設定します。MIDI エクスプレッション・メッセージを複数のペダルに同 MIDI チャンネル応答させる設定で、特定のペダルがプリセット毎に応答するようにできます。

1 ON フットスイッチを押してホールドします。両 LED が点滅したら ON フットスイッチを放します。



2 TREBLE ノブを廻し、MIDI エクスプレッション・メッセージへの応答 (CC #100) を以下のように決定します。

RED - 本機は MIDI エクスプレッション・メッセージに応答しません。(一瞬、点滅します。)

BLUE - 本機は MIDI エクスプレッション・メッセージに応答します。(デフォルト設定、一瞬、点滅します)

3 ON フットスイッチを押して、設定を保存します。



MIDI モードに於けるプリセットの

- MIDI モード内に於いて、300 個ある各プリセットロケーションに保存できます。
- SAVE (保存) モードに入るには、FAVORITE フットスイッチを長押しします。すると LED が **BLUE** に点灯します。
- 本機に接続されている MIDI デバイスからパッチ変更を受けます。メッセージを受信しプリセットロケーションに保存されると、LED がフラッシュします。
- 現プリセットロケーションに本機の設定を保存する場合は、FAVORITE フットスイッチを押してください。

NOTE: 本機のファームウェアバージョン (v1.0 or 1.2) は、MIDIエクスプレッションの設定で簡単に確認できます。v1.0のファームウェアは、TREBLEノブを回しても ON LEDは暗いまです。

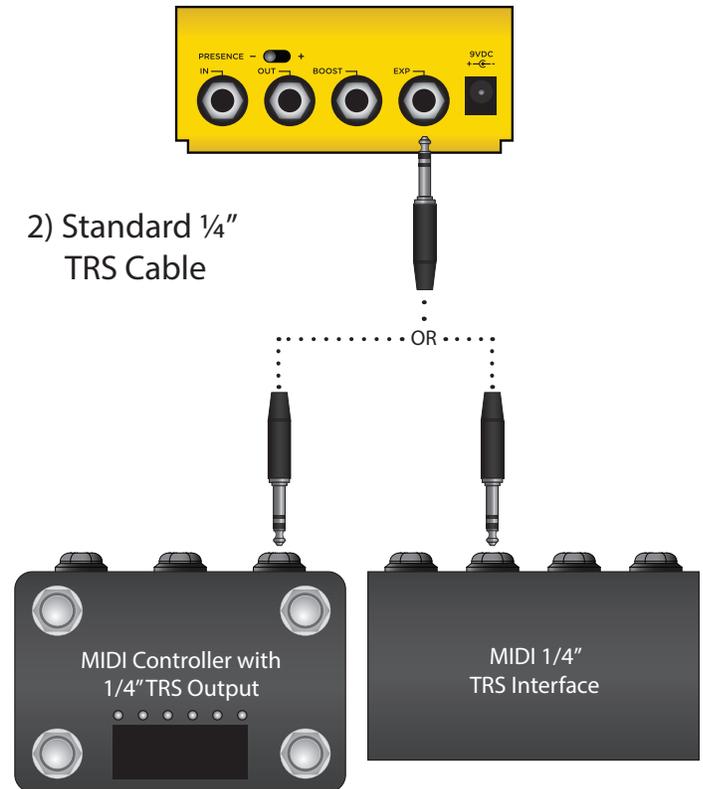
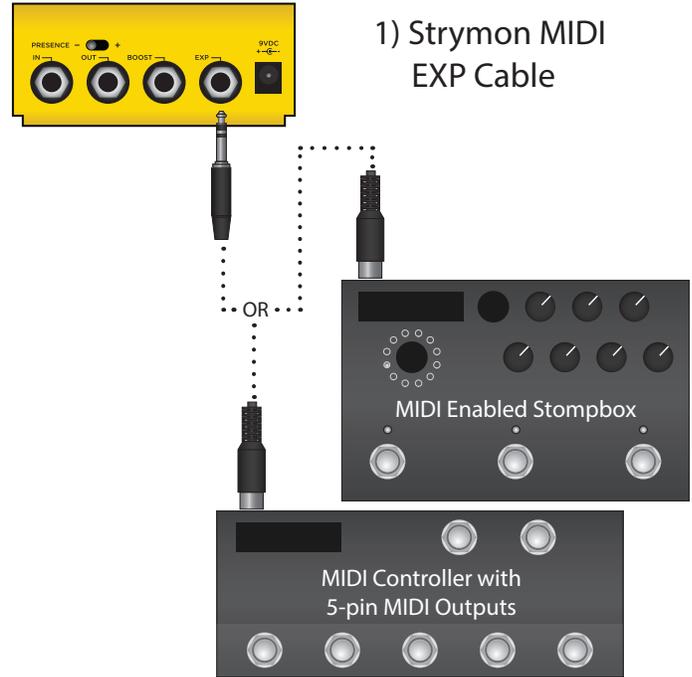
MIDI – 外部デバイスからのMIDIコントロール

Riverside を外部 MIDI デバイスと接続する場合は、図のように MIDI out ジャックから Riverside の EXP ジャックに以下の方法で行います。

- Strymon MIDI EXP ケーブル
- 5-pin MIDI → 1 / 4" MIDI インターフェース
(strymon.net/support/riverside で使用できるデバイスが公開されています。)

本機を MIDI ソースに接続したら、まず MIDI チャンネルを選びます。本機のデフォルト設定は MIDI チャンネルは『1』です。(15 ページ参照)

Riverside のデフォルト設定は MIDI スペシフィケーションをご確認ください。(22 ページ参照)



NOTE : Riverside が MIDI メッセージを受けるだけの場合は、MIDI Output モードをオフにしてください。(19 ページ参照)

MIDI – スペシフィケーション

MIDI パッチチェンジ

本機 Riverside には 300 のプリセットロケーションが存在します。それらのナンバーは 0-299 です。MIDI プログラムチェンジは 128(0-127) プリセットロケーションしか対応できないため、下記の 3 バンクのシーケンス方式で対応します。

- MIDI BANK 0 = PRESETS 0-127
- MIDI BANK 1 = PRESETS 128-255
- MIDI BANK 2 = PRESETS 256-299

本機は電源投入時に MIDI Patch Bank 0 が立ち上がります。ですから、初めの 127 プリセットを使うのであれば、スタンダードな MIDI プログラムチェンジでプリセットをロードしましょう。

上記の MIDI Banks 1 and/or 2 を使用するのであれば、MIDI プログラムチェンジの前に MIDI Bank Change メッセージ [MIDI CC# 0 & MIDI Bank#] が必要です。

本機は、Bank 0 & パッチ 127 ではマニュアルモードに入ります。ノブやスイッチが現設定のままの状態になります。このロケーション (127) にプリセットデータは保存できません。

MIDI CC Numbers

PARAMETERS	CC#	RANGE	NOTES
MIDI Patch Bank	0	0-2	
Volume Pedal	7	0-127	
Level	12	0-127	
Drive	13	0-127	
Bass	14	0-127	
Mid	15	0-127	
Treble	16	0-127	
Boost Level	17	0-127	
Boost Off/On	18	0, 127	(0=off, 1-127=on)
Gain (low/high)	19	1-2	(1=low, 2=high)
Push	20	1-2	(1=norm, 2=mid)
Presence	21	1-3	(1= +, 2= -, 3=middle)
Noise Gate	22	0-127	(0=off)
MIDI Expression Off/On	60	0,127	(0=off, 1-127=on)
Expression Pedal	100	0-127	
Bypass/On	102	0,127	(0=off, 1-127=on)

Appendix 2

ライブエディット機能&パワーアップモード

ライブエディット機能

.....

Secondary Controls (セカンダリー・コントロール) 全てのセカンダリー・コントロールはプリセット毎に保存できます。

ON スイッチを両 LED が点滅するまで長押しします。これでライブエディットモードに入ります。下記の説明のようにノブを使い設定します。再度 ON を押して保存して、ライブエディットモードからでます。

NOISE GATE THRESHOLD

DRIVEノブで調整します。ステータスはFAVORATE LEDが表示します。
(プリセット毎)

Off = Green (default)

Engaged = Amber

Extreme = Red

MIDI EXPRESSION ON/OFF

(Off= ignore CC100)

TREBLEノブで調整します。ステータスは両LEDが表示します。

Off = Red (default)

On = Blue

BOOST LEVEL

LEVEL ノブで調整します。ステータスは ON LED が表示します。
ノブのスィープで 0dB (Green) ~ +6dB (Red) を決定します。

パワーアップモード

電源投入しながら行う設定は下記の通りです。

GENERAL SETTINGS (一般設定) ON フットスイッチを押しながら電源を接続します。セッティングの保存やモードから出る場合は、いずれかのフットスイッチを押します。

BYPASS MODE (バイパスモード) LEVELノブを廻し設定。ステータスはON LEDが表示します。
True Bypass = Green (default)
Buffered Bypass = Red

SET MIDI CHANNEL (MIDIチャンネル設定) DRIVEノブを廻し設定。ステータスはFAVORATE LEDが表示します。
1 = Green (default)
2 = Amber
3 = Red
4-16 = Blue (MIDI Program Change messageでチャンネル設定)

FACTORY RESET (ファクトリー・リセット) BASSノブを2回動かしてリセットします。
Turn 1 = Amber
Turn 2 = Red
Turn 3 = Amber
Turn 4 = 両LEDがRed点滅。リセット後に再起動。

JACK OPTIONS (ジャック・オプション) FAVORATEフットスイッチを押しながら電源を接続します。保存はいずれかのフットスイッチを押します。

EXP (10ページ参照) LEVELノブを廻し設定。ステータスはON LEDが表示します。
Expression = Green
Volume = Red (default)
Favorite Input = Amber
MIDI = Blue

BOOST (9ページ参照) DRIVEノブを廻し設定。ステータスはFAVORITE LEDが表示します。
Expression = Green
Volume = Red
Favorite Out = Amber
Boost = Purple (default)

MIDI OUT MODE (19ページ参照) TREBLEノブ(A)を廻し設定。ステータスは両LEDがフラッシュします。
On = Green
Through = Amber
Off = Red (default)

Appendix 3

サンプルセッティング

Sample Settings



BOOST DRIVE



FAT DRIVE



EDGY



TRANSPARENT & MILD



DROP TUNE



SINGING LEAD

品質保証に関して

この度は、Strymon / DAMAGE CONTROL 社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。

本製品は、Strymon / DAMAGE CONTROL 日本総代理店・オールアクセスインターナショナル株式会社が購入後1年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書（購入期日及び販売店捺印必須）を提示の上、ご購入の販売店または、お近くの楽器販売店まで御依頼ください。保証書の提示が無い場合、保証内であっても1年以内の保証の対象にはなりません。

本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

正規輸入品の保証規定に関する詳細は、当社 Web をご参照下さい。
<http://www.allaccess.co.jp/company/warranty/>



All Access International Inc.

本 社 東京都渋谷区桜丘町30-4-404
名古屋オフィス 愛知県あま市四反田27番地

お問い合わせはこちら

Mail pedal@allaccess.co.jp

WEB www.allaccess.co.jp